

第3回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会 会議録

日時：令和2年11月10日(火)19:00～20:25

場所：多治見市立笠原小学校 会議室

【出席者】

委員：水野(豊)委員、水野(仁)委員、玉置委員、河口委員、仲谷委員、渡邊委員、森本委員、稲葉委員、鈴木委員、中嶋委員

事務局：教育長、副教育長、教育次長

教育推進課 東山、山田、田中、横山

教育総務課 河地、長谷部、高田

【欠席者】

委員：なし

(要点筆記)

開会	
会長	・第3回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会を開会します。
教育長挨拶	
教育長	・夜分お忙しいところお集まりいただき、心よりお礼申し上げます。最近 は寒くなってきたため新型コロナウイルス感染症の拡大を心配してしまし たが、現状では多治見市にも子ども達にも影響がない状況で安心しており ます。本来であれば、この時期は修学旅行や運動会など楽しい行事がたく さんあります。学校ではコロナ禍でも楽しい学校づくりに取り組んでいま す。この研究会も3回目となりました。1回目、2回目では小中一貫教育 校の有効性や問題点などを議論しました。本日は、前回までの議論をまと め、次のステップとなるように皆様からご意見をいただきたいと考えてお ります。本日もどうぞよろしくお願いいたします。
次第1 本日の概要とスケジュールについて	
会長	・次第1「本日の概要とスケジュールについて」の、 1-1.「本日の概要」 1-2.「スケジュール予定」について事務局に説明を求めます。
事務局	(配付資料により説明)
会長	・只今の説明について、意見・質問等はありませんか。 (意見・質問なし)
次第2 笠原の目指す子ども像や学校像について(1)	
会長	・次第2「笠原の目指す子ども像や学校像について」に移ります。 2-1.「今目指している教育目標や合言葉」について事務局に説明を求め ます。
事務局	(配付資料により説明)
会長	・只今の説明について、意見・質問等はありませんか。
委員	・笠原小学校で大事にしているのが「心の宝物」という言葉です。「心の宝

委員	物」とは「自己肯定感」を大事にするということです。自分が作り出した値打ちある事実が、仲間や先生や地域や家族に認められ、小さくても確かな自分の良さについて一人ひとりの子どもが自信を持てるといいなと思っています。これから子ども達が生きていく中で必ず辛いときが訪れます。自分が自分であることに迷いそうになったとき、幼少期に周りから認められた自分のよさを思い出して心の支えになってほしいという願いがあります。どんな視点でそのような姿を見つけていくかという「自立と共生」です。「自立」では面倒や嫌なことでもみんなのためになることを思い切って行動できる姿、「共生」では異なる考え方や立場であっても大事にできる姿を大切にしていきたいと思っています。 ・笠原中学校で大事にしているのが「はあとふる」という言葉です。卒業生が大事にしていた言葉で何年も前から継承しています。「は」は励まし合う、「あ」は相手を思いやる、「と」は友達と認め合う、「ふ」は不安なとき相談する、「る」はルールを守るという言葉の頭文字をとった言葉です。その他では、前任の校長先生からの願いである「夢を抱き他者と協力しながら努力できる生徒」や、多治見市が掲げている「子どもに軸足を置いた信頼される学校づくり」を大事にしています。
次第 2 笠原の目指す子ども像や学校像について (2)	
会長	・2-2.「笠原小学校・笠原中学校・笠原幼稚園・笠原保育園らしさ、笠原らしさ」について事務局に説明を求めます。
事務局	(配布資料により説明)
会長	・只今の説明について、意見・質問等はありませんか。
委員	・今までの幼保小中一貫教育で、「英語教育」「学力向上」「心づくり読書」「心づくり道徳」という4つの柱を大事にしているので今後も続けていくのがいいと思います。また、幼保小中一貫教育で、何ができて何が課題なのかを明確にしないと次のステップに進めないと思います。
委員	・英語教育をはじめとした4つの柱は、笠原でこれからも大事にしていくべきだと思います。
委員	・笠原では広いグラウンドで遊んだり、遠足などで近くの山に登ったりするなど地域の豊かな自然に触れることができる場所のため、昔からの子どもらしい子どもが多いと思います。今後もこの自然を生かしての笠原らしさがあるといいと思います。
委員	・子どもが高校見学に行ったとき、他の学校の子どもたちは同性同士で集まっており、男女の間で壁があると感じました。笠原は幼少期から一緒に過ごしているので男女関係なく行動しており、今後も分け隔てなく接することを伝えていきたいです。
委員	・私は子どもが中学生になったとき笠原に引っ越してきました。笠原では既に小学校で英語教育が始まっていました。英語教育への早期取組のように、今後も新しいことを積極的に取り入れる学校であってほしいです。

委員	・笠原には、幼稚園、保育園、小学校、中学校がそれぞれあり、幼少期から子どもたちが男女関係なく関われるのはとてもいいことだと思います。また、英語教育にも力を入れているのでこれからも他の学校の見本となる学校であってほしいです。
次第 2 笠原の目指す子ども像や学校像について (3)	
会長	・2-3.「将来的にさらに目指す子どもや学校等の姿」について事務局に説明を求めます。
事務局	(配布資料により説明)
会長	・只今の説明について、意見・質問等はありませんか。
委員	・笠原には地域の優しさや温かさがとてもあり、それが子ども達によく伝わっていると感じます。笠原校区では「笠原の子」という表現をよく使うことから分かるように、地域の優しさや温かさの中で育ており、「笠原の子」というだけで安心感を覚えます。
委員	・地域のボランティアの方がみえると子ども達が寄ってきます。地域の方も子ども達のことを知っており、地域あつての学校だなと実感しています。コロナが終息したら、現在自粛しているお祭りなどを積極的に実施したいです。地域に子ども達を引っ張り出してもらうことで、学校では見えない子ども達のいいところを共有し合い、地域と学校の中で子ども達を育てていきたいと考えています。
委員	・笠原の「いこまい祭り」に参加したとき、子どもと地域が一緒になって運営されている姿は他には例がないと思いました。
委員	・今年はコロナによって、例年のようにボランティア活動ができない状況となってしまっていますが、地域は子ども達のために何かできることはないかと活動してくれています。
委員	・昨年、笠原中学生は合計で677回ボランティア活動に参加していました。他の学校ではここまでの参加実績はありません。地域が迎えてくれて、子ども達も自分から参加することができています。
次第 3 これまでの内容統括と中間報告書について	
会長	・次第3「これまでの内容統括と中間報告書について」の、 3-1.「これまでの内容統括」 3-2.「中間報告書(案)」について事務局に説明を求めます。
事務局	(配布資料により説明し中間報告書(案)を一読)
会長	・本日、そしてこれまでの研究会の集大成となります。それでは、中間報告書(案)について、修正点等についての意見をお願いします。
委員	・1ページ目のタイトルが「(報告)」となっていますが、今回は中間報告書であるので「(中間報告)」という表現の方がよいと思います。
委員	・1ページ目の「1 義務教育学校の設置についての総論」1行目について、「義務教育学校」という言葉を入れて分かり易くした方がよいと思います。

委員	・ 1 ページ目の「1 義務教育学校の設置についての総論」15 行目について、「19 年間に渡るこれらの取り組み」とありますが、このままだと英語教育のことしか指していないように見えてしまいます。「英語教育」「学力向上」「心づくり読書」「心づくり道徳」という 4 つの柱は重要であるので、しっかり明記しておく必要があると思います。
委員	・ 4 つの柱は、幼保小中で一貫して取り組んでいます。小中だけだと思われないよう、幼と保もしっかり明記しておく必要があると思います。
委員	・ 笠原一貫教育に密接な関りがある N P O 法人「まいて」について、しっかり明記しておく必要があると思います。
委員	・ 2 ページ目のメリットの部分を除いた 9 行目について、「義務教育学校の設置」とシンプルにした方がよいと思います。
委員	・ 3 ページ目の 17 行目について、「インクルーシブ教育」とだけありますが、分かり易いカッコ書きを入れた方がよいと思います。
委員	・ 3 ページ目の 18 行目について、「クラブ活動や部活動 等」にした方がよいと思います。
委員	・ 3 ページ目の 8 行目について、今回市教委へ報告書を提出することになりますが、「引き続き調査及び研究を行っていきます」という表現でよいでしょうか。
事務局	・ 委員の任期は市教委への報告書提出をもって終わることとなりますが、今回の報告書は中間の報告書であるため委員の任期は継続します。全 10 回を予定している研究会の最後に最終報告書を提出いただき任期終了となりますので、「引き続き」という表現に問題はありません。
委員	・ 3 ページ目の 19 行目について、「(4) 新校舎及び建設場所について」という表現でよいでしょうか。
事務局	・ 建設場所については、市の方でメリットとデメリットを洗い出し点数化等しながら慎重に検討して決定していきます。場所が決まりますと、通学路や校舎についての検討事項や懸案事項が出てきますので、そういったことを調査研究していくという意味になります。
会長	・ その他に修正点等はありませんか。
委員	(意見なし)
会長	・ それでは、委員の皆様からたくさんよい意見をいただきましたので、それらを反映した中間報告書に修正いたします。中間報告書の完成版については私に一任いただけますでしょうか。
委員	(異議なし)
会長	・ ありがとうございます。

次第 4	その他
会長	・ 次第 4 「学校長より」について一言お願いします。
委員	・ 皆様の力のすごさをあらためて感じました。皆様をはじめとする地域の力と経験の延長線上に今の子ども達のすばらしい姿があると思いました。

会長 事務局	この流れを決して滞らせることなく継続し、義務教育学校という未来へと尽力していくのが自分の運命なのかなとも思いました。本日はありがとうございました。 ・次第4「事務連絡」について事務局お願いします。 ・第2回研究会の会議録（案）について、修正等ありましたら事務局にお声掛けください。
次第5	今後の研究会スケジュールについて
会長 事務局	・次第5「今後の研究会スケジュールについて」事務局に説明を求めます。 （配布資料により説明） 5-1.「第4回研究会」：1月中旬 午後7:00～ 笠原中学校 5-2.「義務教育学校の視察」：1月27日（水） 羽島市立桑原学園 5-3.「第5回研究会」：2月 午後7:00～ 笠原中学校 5-4.「第6回研究会」：3月 午後7:00～ 笠原中学校 5-5.「第7回研究会」：4月 「第8回研究会」：5月 「第9回研究会」：6月 「第10回研究会」：7月 最終報告書提出
質疑応答	
会長	・本日の会議全体について、何でも結構ですので、質問や意見はありますか。 （意見・質問なし）
副教育長挨拶	
副教育長	・本日もありがとうございました。先程の笠原らしさというお話を伺った時、笠原は幼なじみという言葉が似合う地域だなとずっと思っていました。昔、溪雲寺のお祭りに参加させていただいたこともありますが、その時の懐かしさのようなものを今感じています。中間報告書につきましては、様々なご意見をいただきまして大変ありがたいと思いました。今後ともよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。
閉会	
会長	・以上で、第3回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会を閉会します。

—以上—